

KIFA Report

河内長野市国際交流協会

Vol. 134
Jan. 2026



● 世界ごった煮フェス 2025

World Potluck Fes 2025

● カーメル国際アートフェスティバルに参加して

● ラブリーハロウィーン

● ガス展で缶バッジ作り

● 国際料理教室 ～ベルギー編～

● インフォメーション

● グローバルカフェ～カンボジア編～

● カーメル市民 後藤周さんと



〒586-0025 大阪府河内長野市昭栄町 7-1 キックス 3F <http://www.kifa-web.jp> Tel 0721-54-0002 office@kifa-web.jp



世界ごった煮フェス 2025

World Potluck Fes 2025

2025年11月16日（日）

市民交流センター

河内長野市の国際交流イベント「ごった煮フェス」が11月の気持ちの良い秋晴れの天気にも恵まれ、その名の通り多様な文化や人々が一つの大きな鍋の中であたたかく混ざり合うような雰囲気の中行われました。

キックスの入り口の外にはキッチンカー、そして今年は館外にミニステージを設けてメイン舞台の宣伝も兼ね、出演者たちのPop-Upパフォーマンスが訪れた人をお迎えしました。館内に足を踏み入れると1階のエントランスではコーヒーの良い香り漂うなか、様々なワークショップや地元野菜の販売のブース、3階では世界の民族衣装を貸し出し、各種ワークショップや姉妹都市コーナーなど。

4階の舞台のまわりでは世界各国の料理やスイーツ、飲み物が並び、来場者は気軽に“世界の味”を食べ歩きながら交流を深めていました。

子ども向けのワークショップも充実しており、異国の遊びや簡単な言語体験、手芸などを通して、楽しみながら異文化に触れられる工夫が満載でした。

ごった煮フェスは、国際交流を特別なものではなく、身近で楽しい日常の一部として感じられる貴重な機会となっていました。多様性が自然に溶け合うあたたかい時間が流れ、市民ひとりひとりが新たな出会いと発見を持ち帰る、心豊かなイベントとなっていました。



●ゴミステーション

ゴミは基本お持ち帰りをお願いしていますが、食品ブースもありすべてを持ち帰っていただくのは難しいため、4階にゴミステーションを設置しました。お箸やスプーンは牛乳パックにまとめ、プラスチックや紙コップなど同じ形状に重ねて整理整頓してもらえるよう、ボランティアからもお声がけしました。皆さん日頃から分別には慣れた様子で快くご協力いただき、とてもスムーズに片付けを終えることができました。



協力いただき、とてもスムーズに片付けを終えることができました。

●食工房

飲食ブースの出展者はキックス食工房で前日から仕込みを開始、沢山の食材を刻んだり、スープを取ったり翌日の本番に備えて用意をしていました。

当日はさらにあわただしく、オープン時間に向けて各ブースの仕込みも佳境に。作っては運び、沢山準備していましたが追いつかないほどの人気ぶり。お昼過ぎには早くも完売した料理もありました。

フィリピンのバナナ揚げ春巻きは急遽追加して販売。春巻きの皮にバナナを巻いて揚げたシンプルな料理ですが、とろとろ甘くとけたバナナにパリッとした食感がとても美味しい、家でもやってみようと思いました。



4F イベントホール Event Hall



ステージの
スタートを飾った
「長野高校和太鼓部」



11時のオープン時間になると、大勢のお客様がイベントホールにぎわい込みます。

ホワイエには、日本語サロン、語学クラブや中国茶のブースが勢ぞろい。そろそろお昼時ということもあり、お客様のお目当てはホールに設けられた、日本、フィリピン、ペルー、ベトナム、インドネシア、カナダ、中国、オーストラリア各国の珍しい食べ物のブースに加え、「酒蔵にしおか」さんの生ビールとワイン。オープン直後ということもあり、まだ準備が完了していないブースもあって、押し寄せるお客様の対応に大わらわでした。

12時になるとホールではステージパフォーマンスが開始されました。客席はほぼ満員。トップバッターは、「長野高校和太鼓部」による和太鼓の演奏。ドンドンという迫力一杯の演奏はキックスいっぱいに轟いたのでしょうか。客寄せ効果満点で、ますますお客様が詰めかけてきました。

オープニングでは、河内長野市長 西野 修平氏、前市長で現衆議院議員、外務大臣政務官の島田智明氏の祝辞、柴 理梨亜 KIFA 会長の挨拶に加え、「カーメル河内長野クックブック」で姉妹都市カーメルとの親睦にご助力いただいた市内在住のイラストレーター綱本 武雄氏が紹介されました。

続いて、ダンスや演奏、獅子舞、コーラスなど盛り沢山な内容のパフォーマンスで、会場はお祭り気分でいっぱいです。

トリはおなじみの「フローレス・デュオ」によるペルーの音楽。日本語での絶妙な客席との掛け合い。ギターとペルーの伝統楽

器の演奏と歌。最後は他の出演者にお客様も混ざって、歌って手拍子しながら客席から舞台へと盛り上りました。これらのグループのいくつかは、一階エントランス前で行われた POP UP ステージにも出演していただき、皆様を楽しませてくださいました。

＜ボランティアの協力＞

前日の会場準備から出展者の方たちに加え、沢山のボランティアさんに集まつていただき、各所の設置もあつという間に完了。また当日の運営、後片付けも沢山の方たちの協力により怪我や事故無く無事に終えることができました。来年は 12 月 6 日（日）開催のごった煮フェスで、この輪をさらに広げていきたいと思いました。



「ダンスパワーズ」の若さいっぱいはつらつとしたダンス



「大阪龍獅団」の中国獅子舞は客席まで出張してサービス



「和太鼓響」による和太鼓演奏
圧巻の迫力に沸く客席



「上島繭フラメンコ教室」のスペイン情緒たっぷりの歌、踊り、ギター



「Make Us One」によるゴスペルで、一足早いクリスマスの雰囲気



「アンサンブル・マカニ」のウクレレ演奏「浪漫飛行」や「Desire」など楽しい曲も



「ハラウ オ リリノエ」のフラで、舞台にハワイのそよ風が



「カルラ アジアンダンス スタジオ」のインド舞踊では、可愛い小学生のダンサーも

2025年9月24日(水)～10月1日(水)

米国 インディアナ州 カーメル市

カーメル国際アートフェスティバルに参加して



ホストファミリーの Kay Myers さんと

姉妹都市からのアーティストとして、カーメル国際アートフェスティバル(CIAF)に参加させていただきました。

フェスティバルを中心とした1週間のアメリカ訪問は、KIFA関係者をはじめ多くの思いやりに満ちた出会いに支えられた素晴らしいものでした。

街の景色や往々交う自動車の動きでさえ珍しく、ハロウィンの季節を本場の地で感じることも嬉しく、案内していただいた各所施設の充実度や豊かさには驚きと感動の連続でした。

また、滞在をホームステイで過ごさせていただいたことは、私にとって格別の体験となりました。そこに紡がれた歴史や文化を現代の人々が誇りとして大切にしつつ、新しい環境へと発展させたことが、暮らしの中にも深く感じられ、人の心の受け継ぎについて何か国境を越えたような身近ささえ感じました。

アートフェスティバルはダイナミックな祭りパレードで幕を開け、様々な参加国の文化披露舞台や、多くのアーティストたちの作品で彩られ、芸術のストリートは大盛況でした。まさに国際交流、私も拙い日本画を並べ、たどたどしい英会話でコミュニケーションに努めました。自分の学んできた日本の伝統に誇りを感じながら楽しい交流の時間が持てたことは、この事を企画、準備、当日のサポートに尽力してくださった多くの方々のおかげです。感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。

田仲明代さん：日本画

書道家としてカーメル市に行ってみたいと思い、参加しました。家族の協力もあり、行くことが叶いました。実は、海外で書道の活動をすることがずっと夢でした。1つ夢が叶ってとても嬉しいです。

5日間たくさんの人にお世話になり、幸せなひとときでした。飛行機は長旅でしたが、カーメル市はとても綺麗な建物や施設がたくさんあり、見学や案内もしていただき、あっという間の時間でした。どれも印象に残りましたが、カーメル高校がすごく充実しすぎるくらいの設備が整っていてビックリしました。アートの授業がいろいろなジャンルに分かれています、編み物や、切り絵、車の塗装、木工を使ったアート、金属のアクセサリー、陶芸アート、パソコンを使ったアート、ものづくりが好きな私にとってどれも魅了されました。

道路は歩道が整っていて、朝の市場に出かけた時にたくさんの人が犬の散歩やランニングしているのを見て、街並みも良いし私も走りたい！気持ち良さそうだなと印象を受けました。プールでは波乗りができます、壁がロッククライミングだったり、見るだけで、テンションが上がりいました。

アートフェスティバルで当日は、良い天気に恵まれ、テントが50ブースくらい並び、その中の一つで毛筆でお名前を書く体験をしていただきました。筆を持って一緒に書くと、筆の動きに感動していただき、喜んでもらえました。また他の各ブースのアートはそれぞれ違う個性があり、とても見応えがありました。お世話になった方々に感謝します。素晴らしい思い出ができました。

京谷小百合さん：書道

Carmel International Arts Festival



2025年10月13日（月・祝）

ラブリー・ホール

ラブリー・ハロウィーン

Halloween
at Lovely Hall

ラブリー・ホールにて、ハロウィーンイベントが実施されました。大ホールでは、仮装ファミリーコンサートやフェイスペイント、カボチャのランタン作り体験などが実施されるなか、KIFAは小ホールにて「段ボール迷路」を担当し、子どもたちや家族連れが大勢参加してくれました。

思い思いの仮装をした子どもたちが、段ボールで作られた迷路にチャレンジしゴールをめざします。子どもたちは、「簡単だったよ～」との声が多い中、小さいお子さん連れの大人たちは疲れ模様、大人にとっては迷路の幅がやや狭かったのと屈まないと進めないのが辛かったようです。また、段ボールの背が意外と高く、大人が背伸びしても迷路が見渡せないので、子どもたちの方がスイスイ迷路を通り抜けていました。小さい子どもは最終手段で、段ボールの下部に開いてる穴から出てくるというハプニングもあり、皆さん大爆笑！

ゴールしたら、子どもたちはみんな笑顔で「trick or treat? (トリックオアトリート)」、私たちから「Happy Halloween! (ハッピーハロウィーン)」と言って、一粒チョコを手渡すと子どもたちもニッコリ大満足！楽しくなって何回も迷路にチャレンジする子が続出し、笑い声の絶えない楽しい一日になりました。



ガス展で缶バッジ作り

11月の連休の中日、秋の河内長野ガス展に今年もKIFAが参加しました。

当日は秋晴れとまではいきませんが、まづまづのお天気。河内長野ガス前の広場には、色々なものを販売するブースが並び、キッチンカーも来て家族連れで賑わっていました。

KIFAのブースでは、オリジナルの缶バッジ作りを行い、KIFAの活動のPRを行いました。パパにおねだりして、作り始めるお子さんたち。最初に絵柄を選んでいよいよ缶バッジ作りです。普段見慣れている缶バッジですが、実際に機械を使って作るところを見るのは初めてのようで、自分の選んだ絵柄が缶バッジになっていく過程を楽しそうに見ていました。さあ、出来上がりです。自分オリジナルの缶バッジを笑顔で受け取ってもらいました。



2025年11月2日（日）
河内長野ガス



2025年12月20日（土）
市民交流センター 食工房

国際料理教室

～ベルギー編～



Joyeux Noël



講師の前本ベネディクトさん

久々のヨーロッパ料理、しかもクリスマスを直前に控えた時期ということもあったのか、たくさんのみなさんが参加してくださいました。講師はベルギー出身の前本ベネディクトさんです。

今日のメニューは「クリスマスのローストチキン」、「ブロッコリーのスープ」、「マッシュドポテト」、「クランベリーのコンポート」、それにデザートの「Rose des sables」と華やかに盛りだくさん。ローストチキンは、塩コショウやニンニクの他に、ベネディクト先生のお家で栽培しているタイム、ローズマリー、セージなどのハーブを加えて日常とちょっと違った特別感が醸し出されます。シンプルだけれども手を抜かない家庭料理は、見た目もお味も本格的な出来上がり。お昼からこんなご馳走をいただきて良いのかしらと思いながら完食しました。「今年のクリスマスはこれ!」と、決めた方も多いかったのではないでしょうか？

歓談のあいまにベルギーのクリスマスについてのお話を聞くことができました。ベルギーでは貧しい人々や子どもたちに優しいとされるセント・ニコラスのお祭りが12月6日に祝われます。クリスマスシーズンのはじまりを告げる行事でお菓子などをもらえるので、子どもたちは、この日はいい子でいようと思って過ごすそうです。12月25日のクリスマスには、早く起きてプレゼントを見ようと思って部屋に行くと、牧場の仕事で朝忙しいご両親は、部屋に鍵をかけて出かけているので、プレゼントのある部屋に入れません。妹さんと一緒に鍵穴からプレゼントが来ているか覗いていたそうです。ご両親が朝の仕事から帰ってくると、ようやく一緒にプレゼントを開けます。子どもたちの喜ぶ顔に、仕事の疲れも飛んでいったことでしょう。

日本に来てからは、クリスマスが祝日じゃないのにびっくり。平成天皇の誕生日が12月23日で祝日だったので、前本家ではその日に早めのクリスマスを祝わっていたそうです。

クリスマスは基本的には家族で過ごすのが習慣ですが、日本ではお正月に家族で過ごすことが多いので、お子さんたちは友達と出かけたいので、どっちかにしてよ、と言っていたとか。楽しい思い出話は、参加者のみなさん的心にも、何か温かいものを持ってくれたようでした。



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
1月	Jan	18・25	13・20・27	15・22・29
2月	Feb	1・8・15・22	3・10・17・24	5・12・19・26
3月	Mar	1・15・22・29	3・10・17・24	5・12・19・26

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00～15:45

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00～11:30

市民交流センター (KICCS) 3階

木曜日 Thursdays 18:00～19:30

ノバティ南館3階 ノバティホール



●語学クラブ スケジュール

○英語フリートークイング 予定講師

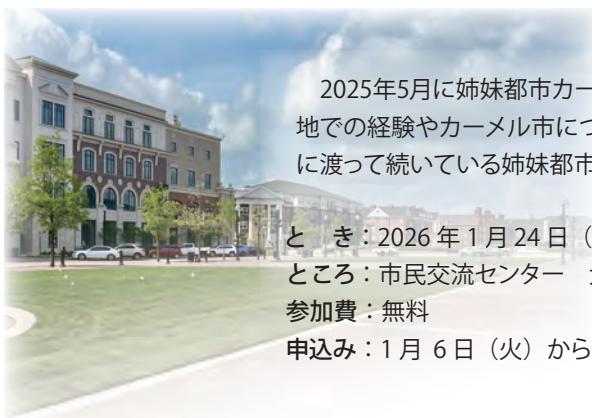
1月 Graham Macleod (Canada)

2月 Adarshy Sharma (India)

3月 Michael Nii Laryea (Ghana)

コース		英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (中級)	中国語 (初級)
時間		14:00～15:30	19:00～20:30	19:00～20:30	19:00～20:30	10:00～11:30
開講日	1月	10	13・27	6・20	9・16	7・21
	2月	14	10・24	3・17	6・20	4・18
	3月	14	10・24	3・17	6・27	4・18

■多文化の部屋 ～カーメル編～



2025年5月に姉妹都市カーメルへ行った訪問団が現地での経験やカーメル市について語ります。30年以上に渡って続いている姉妹都市関係の今後の展望は？

とき：2026年1月24日（土）14:00～15:30
ところ：市民交流センター 大会議室
参加費：無料
申込み：1月6日（火）から電話・メールで受付

■フィリピン民族舞踊公演
～CPUがやってくる！～



フィリピンセントラル大学の学生達による民族舞踊団がやってきます。滞在中は、市内の学校を訪れ、子どもたちとの交流も予定しています。

とき：2026年2月21日（土）
開場 16:30 開演 17:00
ところ：市民交流センター イベントホール
参加費：無料
定員：先着 280名
申込み：1月6日（火）から
電話・メールで受付

■カーメル市民 後藤周さんと

姉妹都市カーメルから、後藤周さんが来日しました。ブラジル生まれブラジル育ちの周さんは、2025年5月にカーメルで市長訪問団と交流し、桜まつりにも参加したご縁のある方です。今回は早期退職を機に、日本の親戚・友人を巡る旅の途中で河内長野にも立ち寄られました。河内長野駅では「カーメル河内長野クックブック」の挿絵を担当した綱本



武雄さんと半年ぶりに再会。合流したKIFAメンバーとともに天野山金剛寺を訪れ、堀智真座主から国宝やお寺の歴史について興味深いお話を伺いました。その後、市民交流センター（キックス）も見学しました。

夕方からは、最近カーメルを訪れたメンバーが集まり、周さんを囲んで楽しい会食に。ブラジル育ちとは思えない流暢な日本語と明るいアメリカンスピリットで話題は尽きず、閉店まで盛り上りました。

※河内長野市在住の外国籍を有する市民数 1,216人（2025年11月末現在）

■Global Café スケジュール

1月16日（金）、17日（土）	アルゼンチン編
1月30日（金）、31日（土）	インドネシア編
2月17日（火）、18日（水）	春節編
2月28日（土）	つながりフェスタSP
3月21日（土）	ペルー編

★開店時間は原則11:00～15:00



■日本語サロンスタッフ募集
～日曜・火曜クラス～

地域在住の外国人の方にボランティアで日本語学習のサポートをしてくださる方を募集します。

活動：日曜クラス 14:00～15:45 千代田公民館 2階
火曜クラス 10:00～11:30 キックス 3F

資格：①日本語ボランティア講座を受講などの経験を持つ成人で、日曜、または火曜に原則毎週参加できる人
② ①の条件に加えて、日曜クラスにおいて多国籍の児童・生徒への日本語指導を優先して担当できる人（教員免許あればなお可）

申込：曜日と①または②の希望をメールで事務局へ
(締め切り2月17日)



事務局の冬休み

12月27日（土）～1月5日（月）

■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会（KIFA）
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1

市民交流センター（キックス）3階

TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004

Eメール: office@kifa-web.jp

コース	スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)	タイ語 (初級)
時間	19:00～20:30	13:00～14:30	10:40～12:10	15:00～16:30	19:00～20:30
開講日	1月 2月 3月	9・16 6・20 6・27	14・28 18・25 11・25	14・28 18・25 11・25	9・16 6・20 6・27



グローバルカフェ

～カンボジア編～

グローバル・カフェ カンボジア編

2025年12月13日(土)
市民交流センター 1F カフェコーナー



河内長野市の市民交流センター「キックス」1階で不定期に開催されている「グローバルカフェ」。世界のさまざまな国の料理や飲み物を通して、国際交流を楽しめるカフェです。今回はカンボジアからの初出店です。

今回の店長を務めてくれたのは、カンボジア出身のダーネットさん。国際交流協会創立以来30数年の日本語支援活動を続いている「日本語サロン」の生徒さんです。当日は同サロンのメンバーが調理や接客をサポートしてくれました。

会場の入り口では、カンボジアにまつわるクイズがお出迎え。言葉や文化、地理に関する問題が用意され、正解するとちょっとしたお菓子がもらえる仕掛けが。来店者は楽しみながらカンボジアを知ることができる工夫が随所に見られました。

店内には、カンボジア各地の風景写真や地図が飾られ、まるで小さな旅に出かけたような気分に。料理を待つ間も、展示を眺めながら「行ってみたい」「こんな場所があるんだ」と会話が弾み、カンボジアへの興味をぐっと引き寄せてくれます。

おなかをすかせて注文したランチセットのメインは、「クメールお粥」。椎茸やもやし、鶏肉がたっぷり入った具沢山のお粥で、



仕上げに
のせられた
カリカリ
のフライド
ガーリック
が食感の

アクセントに。やさしい味わいながらも食べ
応えがあり、心も体も温まる一品でした。

「黄豆粥のデザート」は、おなじみの丸いタピオカに加え、初めて目にする長方形のタピオカや、きくらげや角切りのさつまいもが入り、こちらも具沢山。カボチャペーストとアジアンデザートの定番であるココナッツミルクが合わさった、まろやかな甘さのスイーツに仕上がってきました。

料理だけでなく、人との交流や文化に触れることができるのも、グローバルカフェならではの魅力です。2026年も、さまざまな国のグローバルカフェの開催が予定されているので楽しみに♪

身近な場所で世界を感じられるグローバルカフェに、ぜひ足を運んでみてください。

カンボジアにまつわる
クイズの答えはこちら



詳しい答えはKIFAの
ウェブサイトで！

1番 カンボジアで売られている果物で一番値段の高いのはどれでしょう	A ドリアン	B マンゴー	C スイカ
2番 カンボジアの子供の日はいつでしょう	A 5月5日	B 5月6日	C 6月1日
3番 カンボジアのお正月は1年に何回あるでしょう	A 1回	B 2回	C 3回
4番 カンボジアの通貨は何でしょう	A パーツ	B リエル	C ペソ
5番 トンレサップ湖とびわ湖どちらが大きいでしょう	A びわ湖	B トンレサップ湖	C ほぼ同じ
6番 カンボジア語(クメール語)で牛肉はなんというでしょう	A ウマイ	B オイシー	C サイコ

GLOBAL CAFE GLOBAL CAFE

オーストラリア編



10月17日、18日



世界の
珈琲編



10月31日、11月1日

中国
茶編



11月28日、29日

この歳になると、月日の流れが驚くほど早く感じられる。KANSAI EXPO一色で幕を開けた2025年は、万博の熱気に負けぬ猛暑の夏から始まり、エアコンの力で何とか生き延びたかと思えば、暑さと寒さが入れ替わる短い秋が続いた。今この記事を書いている12月初めは穏やかな日のあとに急な寒波におそわれている。

そんな気まぐれな気候に翻弄されながらも、姉妹都市カーメルを訪れ、現地の人々と交流し、同行した仲間と語らい合うなど今年も楽しい思い出がいくつも生まれた。息子の家の小学生の孫はすっかり万博ファンになり、夏休みには何度も会場へ足を運んだらしい。子どもたちの目には、この万博はどのように映っていたのだろう。

万博といえば、私の世代が真っ先に思い浮かべるのは1970年の大阪万博。ちょうど大阪へ越してきた年で、親戚や友人が訪ねてくるたびに一緒に千里の会場へ向かった。当時は「外国」という存在自体が珍しく、小さな国のパビリオンにも次々と足を運んだ記憶がある。現在は木々が豊かに茂る公園に生まれ変わった千里の丘陵は、時折散策するのが楽しみ。

今回の万博会場となった夢洲も、賑わいの余韻を残したまま、今は会場整理が進められている。何十年後の人々の目には、どのような夢洲として映るのだろうか。名前のとおり、未来へ「夢」を届ける場所であり続けて欲しい。

GATEAU